

「ガイドライン」語句修正の主なポイント

ページ	渋谷駅中心地区 まちづくりガイドライン2007	渋谷駅中心地区 まちづくりガイドライン(案)
1	はじめに 区のことをまとめたもので、主語は「区」とし、かつ社会情勢の変化を踏まえ、「適宜見直しを図る」とした。	はじめに 渋谷駅中心地区まちづくりガイドライン検討会の考え方をまとめたものであり、主語は「検討会」。
5	駅中心地区の将来像 広場・坂・路面店を活かした、めぐり歩ける、環境と共生するまちを目指してー	駅中心地区の将来像 職・住・楽の連携により新しい文化を創造・発信し、環境と共生するまちを目指してー
9	戦略2 “谷を冷やす”～緑・水を活かした谷空間の環境づくり～ 方策3 緑と水のネットワーク、風への配慮により、潤いある都市空間の形成	戦略2 “谷を冷やす”～水・緑を活かした谷空間の環境づくり～ 方策3 水と緑のネットワークにより、潤いある都市空間の形成
11	戦略3 “都市回廊を創出する”～子供からお年寄りまでの多世代が、めぐり歩いて楽しいまちの実現～ 方策2 多層な都市基盤やまちをつなぎ、地下・デッキから地上へ人を誘導する“アーバン・コア”の整備（アーバン・コアを明確に記載）	戦略3 “都市回廊を創出する”～子供からお年寄りまでの多世代が歩いて楽しいまちの実現～ 方策2 多層な都市基盤やまちをつなぐ“アーバン・コア”の整備
12	まちをつなぐ多層的な歩行者ネットワーク形成のイメージ(図) 「歩行者ネットワークは、地上部をメインとする」とし、広場や歩行者ネットワークを図中に詳細に書き込んだ。	まちをつなぐ多層的な歩行者ネットワーク形成のイメージ(図)
17	戦略6 “渋谷らしさを強化する” 方策4 周辺とも連携した緑と水がとらなる景観の形成	戦略6 “渋谷らしさを強化する” 方策4 周辺とも連携した水と緑がとらなる景観の形成
18	街並み景観イメージ(渋谷駅東口)の差換え(具体的イメージを持たせるため) 郡としての独立性を持った渋谷のシンボリックな景観のイメージ(図)の修正	郡としての独立性を持った渋谷のシンボリックな景観のイメージ(図)
19	戦略7 “みんなで育てるまちづくり”～協働型まちづくりによる渋谷の将来像の具現化～	戦略7 “まちづくり育てる”～渋谷の将来像を具現化するまちづくりの進め方～
その他	行政計画のためガイドライン検討会名簿は掲載しない。	渋谷駅周辺地区まちづくりガイドライン検討会名簿 を掲載